

=美術館=

1 美術館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。

(1) 観覧者数等

ア 常設展示室

(単位：人)

	小中生	高大生	一般	有料 観覧者数	無料 観覧者数	合計	開館 日数	1日 平均
個人	92	70	3,014	3,176	3,379	7,344	244日	30
団体・割引	9	3	777	789				
合計	101	73	3,791	3,965				

イ 一般展示室

利用団体の別	展覧会の件数	観覧者数(人)	展示日数(日)	1日平均(人)
一般	30	20,048	124	161
美術館主催共催	8	13,544	80	169
合計	38	33,592	204	164

ウ 会議室

利用団体の別	利用件数	利用者数(人)
一般	354	2,543
美術館主催	13	238
合計	367	2,781

(2) 所蔵品の充実

ア 荻須作品の購入

作品名	制作年	種別
プロヴァンのガラージュ	1934年	油彩

イ 荻須作品の寄贈

作品名	制作年	種別
水車場と小舟	1938年頃	油彩
ボールガール通り	1975	リトグラフ・紙
ル・パール・デ・ザミイ	1978	リトグラフ・紙
ヴィラン通り	1982	リトグラフ・紙

ウ 荻須作品の受託

区分	作品名	制作年	種別
継続	タルト・オ・ポムとブリオッシュ	1934年	油彩
継続	ジュッシュ広場の“ヴァン・タバ・リキュール”	1935年	油彩
継続	ノルヴァン通り	1937年頃	油彩

継 続	パサージュ・ドウ・モールの煙突	1938 年	油 彩
継 続	赤と白の芍薬	1946 年頃	油 彩
継 続	ウールックの煙草屋、パリ	1953 年	油 彩
継 続	リュウ・シャルルマーニュ	1954 年	油 彩
継 続	ジェノヴァ	1955 年	油 彩
継 続	ブールジュの八百屋 “アモラ”	1955 年	油 彩
継 続	ヴェネツィア、ミゼリコルディア パノラマ	1957 年	油 彩
継 続	サン＝チュルバン	1959 年	油 彩
継 続	食料品店 “アンドレ”	1961 年	油 彩
継 続	ルーアン、メゾン・ア・コロンバージュ	1961 年	油 彩
新 規	サンリス(角の家)	1964 年	油 彩
継 続	運河の平底船	1966 年	油 彩
継 続	レストラン “ア・ラ・グリーユ”	1978 年	油 彩
継 続	プレ・サン・ジェルヴェ	1979 年	油 彩
継 続	ヴェネツィア、スカルツィ橋	調査中	油 彩
継 続	サン・ドニ大聖堂	1949 年頃	水 彩
継 続	アニック城	1952 年	水 彩
継 続	ヴェネツィア、大運河、ゴンドラ	1960 年代	水 彩
継 続	ムフタール通り	1973 年	リトグラフ
継 続	バナニア	1977 年	リトグラフ

(3) 絵画等の修復・保存措置

作 品 名	種 別	修復・保存措置	購入・受贈年度
ギュドモン城館	油 彩	作品の修復・額装改良	昭和 55 年購入
リトグラフ 42 点	リトグラフ	作品の修復・額装改良	令和 6 年度、 令和 7 年度寄贈

(4) 荻須作品調査

調 査 対 象	調 査 内 容	調査件数
荻須作品所蔵者	荻須関係資料の調査	2 件

2 美術に関する講演会、講習会、講座等の開催に関すること。

(1) 令和 7 年度特別展「荻須高德 リトグラフ展 ―稲沢市荻須記念美術館コレクション―」
ア 展覧会事業

概 要	荻須高德(1901-1986)は油彩画家として知られるが、円熟期となる 1967 年からリトグラフの制作を開始した。美術館建設当時に荻須自らが寄付を当館のリトグラフコレクションと共に、この展覧会にあわせて個人や法人から御寄付、御寄託を受けた作品を加えて、油彩画に次ぐライフワークと言える荻須のリトグラフの画業を展覧。
会 期	10 月 24 日(金)～12 月 7 日(日) (39 日間、開会式を除く)
会 場	一般展示室Ⅰ・Ⅱ

観 覧 料	一 般 1,000 円 (800 円) 高・大生 800 円 (640 円) 小・中生 100 円 (80 円) ※ () 内は 20 名以上の団体料金・割引料金
観覧者数	4,916 人 (1 日平均 126 人)

イ 展覧会関連事業

(ア) ウェルカム！おしゃべり DAY

期 日	11 月 3 日 (月・祝)
内 容	小さなお子様連れのご家族、お友達と楽しくおしゃべりしながら鑑賞を楽しみたい方々を対象に、普段の静かな環境とは違った美術鑑賞の愉しみを体験していただく。
観覧者数	104 人

(イ) ギャラリートーク

期 日	11 月 8 日 (土)、11 月 24 日 (月・休) 午前 10 時 30 分～・午後 2 時～ 30 分程度
会 場	常設展示室、一般展示室 I・II
内 容	当館学芸員が展覧会の見どころを解説する。
参加者数	99 人

(ウ) 石版画家によるギャラリートーク

期 日	11 月 22 日 (土) 午後 2 時 30 分～ 30 分程度
会 場	一般展示室 I・II
講 師	片山浩 (名古屋芸術大学准教授)
内 容	伝統的なリトグラフ制作を続ける現役石版画家によるギャラリートーク
参加者数	28 人

(エ) 講演会

講 座 名	OGUISS リトグラフの世界
期 日	11 月 2 日 (日) 午前 10 時 30 分～正午
会 場	会議室
講 師	西村正幸 (元京都精華大学教授)
内 容	版画家の視点から荻須のリトグラフの魅力について語る
参加者数	32 人

(オ) 子ども美術講座

講 座 名	万華鏡を作ってみよう！
期 日	11 月 16 日 (日) 午前 10 時～正午、午後 1 時 30 分～3 時 30 分
会 場	会議室
講 師	奥田美樹 (アーティスト)
内 容	荻須高德のリトグラフ制作方法を参考に、色の面の組み合わせを楽しみながら万華鏡を作ってみる
参加者数	33 人

(カ) 大人美術講座

講座名	石でリトグラフを作ってみよう！
期 日	11月22日(土) 午前10時～午後1時
会 場	会議室
講 師	片山浩(名古屋芸術大学准教授)
内 容	荻須が好んで用いたドイツ産の石灰石に絵を描き、リトグラフの制作体験を行う
参加者数	10人

(2) 企画展

ア 第62回稲沢市民展

概 要	日本画、洋画、写真、書、工芸美術の5部門で作品を募集。優秀作品を表彰。
応募点数	一般応募128点(※無鑑査、運営委員作品を含めて148点)
表彰点数	愛知県教育委員会賞はじめ29点
会 期	第Ⅰ部 (日本画・洋画・写真) 9月30日(火)～10月5日(日)(6日間) 第Ⅱ部 (書・工芸美術) 10月7日(火)～10月13日(月・祝)(7日間)
会 場	一般展示室Ⅰ・Ⅱ
入場者数	1,657人(一日平均127人)

イ 第46回絵になる町児童生徒絵画展

概 要	荻須画伯の「絵になる町づくり」提言を契機として、写生を通じて稲沢の町を再発見し、郷土を愛する心を育むことを目的に小中学生の作品を募集。優秀作品を表彰。
応募点数	小学生559点、中学生202点 計761点
表彰点数	入賞54点、入選196点 計250点
会 期	1月4日(日)～1月12日(月・祝)(8日間)
会 場	一般展示室Ⅰ・Ⅱ
入場者数	2,107人

(3) 講座

ア 親子美術講座

講座名	アートスタート「親子で色あそび」
期 日	6月26日(木)午前10時30分～11時30分
会 場	会議室
講 師	奥田美樹(アーティスト)
内 容	米粉粘土を使って、親子で色や手触りを楽しむ。
参加者数	6組12人

イ 子どもわくわく美術講座

期 日	7 月 20 日(日) 午前 10 時～正午、午後 2 時～ 4 時
会 場	会議室
講 師	大崎智仁 (造形絵画教室講師)
内 容	絵具を使って、未知の色の世界でできることを発見する
参加者数	39 人

(4) ギャラリートーク

ア 常設展ギャラリートーク

期 日	5 月 6 日(火・休)午前 10 時 30 分～11 時、午後 2 時～ 2 時 30 分
会 場	常設展示室
内 容	学芸員が常設展示室の荻須作品を解説した。
参加者数	18 人

イ ウィキペディアタウン稲沢 (稲沢市荻須記念美術館)

期 日	11 月 30 日 (日) 午前 10 時～午後 4 時 30 分
会 場	常設展示室
内 容	荻須記念美術館をテーマに、インターネット百科事典「ウィキペディア」に書き加えていくワークショップ。学芸員が特別展の解説も行った
参加者数	8 人

(5) 青空アートの日

期 日	令和 7 年 5 月 6 日 (火・休) 午前 10 時～午後 4 時
会 場	美術館内
内 容	美術体験として、段ボールアートや日本画、3Dアート、和風オブジェ、墨流し、切り絵、木工パーツ作品制作を行い、音楽体験として、打楽器演奏やミニコンサートを実施した
参加者数	457 人

(6) 鑑賞教育 (稲沢郷土学習)

内 容	学校教育課、市内小学校 23 校との連携により、平成 20 年度から開始した事業。児童が作品鑑賞を通じて美術に親しみ、鑑賞マナーを身につける機会を提供する。当館学芸員が荻須の紹介と作品解説などを行う。
期 間	10 月 28 日 (火) ～12 月 5 日 (金)
対 象	市内小学校 6 年生
受入人数	1,233 人 (引率教職員を含む)
配付資料	特別展の見どころを紹介した子ども鑑賞プログラム (A4 判 8 頁) を鑑賞ガイドとして小学校 6 年生に配付した。 また、学習指導の手引き (案) を各小学校へ配付し、来館前に事前学習するよう依頼した。

(7) 美術館大学パートナーシップ事業

ア 「常設展」・「特別展」観覧状況

名古屋文理大学		愛知文教女子短期大学		合 計
学 生	教職員	学 生	教職員	321 人
184 人	24 人	107 人	6 人	

イ 連携事業

名古屋文理大学

- ・情報メディア学部情報メディア学科の学生が、第 62 回稲沢市民展のポスターデザインを行った。
- ・特別展にあわせて連携講座を行った。

講 座 名	稲沢市文化振興財団出張演奏会「アート&コンサート」
期 日	11 月 30 日（日） 午後 1 時 30 分～3 時 10 分
会 場	名古屋文理大学、荻須記念美術館
内 容	名古屋文理大学でのトーク＋コンサートを鑑賞後、美術館に移動し荻須リトグラフ展を当館学芸員の解説付きで観覧トークとミニコンサートを楽しんだ後、特別展の作品を解説付きで鑑賞
講 師	栗林芳彦（名古屋文理大学教授）、当館学芸員
演 奏	伊藤真理子（スピネット）、石田正（オーボエ）
協 力	一般財団法人稲沢市文化振興財団
参加者数	24 人

3 美術館資料及び展覧会に関する解説書、図録等を作成し頒布すること。

(1) 図録等の作成

名 称	印刷部数（部）
令和 6 年度 美術館年報	130
特別展 子ども用パンフレット	11,000
特別展 子ども鑑賞プログラム（鑑賞教育用）	1,300

(2) 頒布

名 称	単 価（円）	販売部数（部）
絵葉書 A（油彩画、8 枚 1 組）	500	63
絵葉書 B（水彩画、8 枚 1 組）	500	155
絵葉書 C（油彩画・リトグラフ、8 枚 1 組）	500	107
絵葉書 D（油彩画、8 枚 1 組）	500	139
生誕 120 年記念荻須高德展グッズ 絵葉書 (R3)	150	429
絵葉書 (R6)	150	409
荻須高德 リトグラフ展 絵葉書 (R7)	150	4,312
稲沢市荻須記念美術館所蔵品図録 荻須高德作品集 (R2)	1,200	74
黒田清輝と藤島武二展 図録 (H5)	1,000	1
エコール・ド・パリの異邦人 図録 (H10)	1,000	3

開館 20 周年記念マリー・ローランサン展 図録 (H15)	1,000	2
楽しい版画展 図録 (H17)	1,000	3
三都の女展 図録 (H19)	1,000	4
彫刻 高田博厚展 図録 (H22)	1,000	0
日本画家が描いた西洋風景展 図録 (H25)	1,000	5
小磯良平展 図録 (H26)	1,700	4
山形美術館の名品と荻須が見たパリ画壇 図録 (H30)	2,000	1
牛島憲之展 府中市美術館コレクション 図録 (R2)	1,700	27
長谷川潔展 図録 (R5)	2,000	0
荻須高德 リトグラフ展 図録 (R7)	2,970	189
生誕 120 年記念荻須高德展グッズ A4 ポスター (R3)	550	4
リトグラフポスター (R7)	5,000	160
ポスター筒	500	49
生誕 120 年記念荻須高德展グッズ 一筆箋 (R3)	440	55
荻須高德 リトグラフ展 一筆箋 (R7)	440	173
クリアファイル	300	285
マグネット付しおり	300	72
ノート	300	130
ブロックメモ	500	56
付箋	300	42
シール	400	235
マグカップ	1,000	173
ミニレター	500	147
手提げ袋	150	88
エコバッグ	2,420	84

4 美術館の管理運営に関すること。

美術館の運営等に関する審議

名 称	開催回数
稲沢市美術館協議会	2
稲沢市美術館美術品収集委員会	1